

第1回イノベーション戦略調整会議 議事録

1. 日時 平成30年2月2日(金) 8:00～8:15

2. 場所 総理官邸4階大会議室

3. 出席者

議長	菅 義偉	内閣官房長官
副議長	松山 政司	内閣府特命担当大臣(科学技術政策、知的財産戦略、宇宙政策) 兼 情報通信技術(IT)政策担当大臣
構成員	茂木 敏充	経済再生担当大臣 兼 健康・医療戦略担当大臣 兼 内閣府特命担当大臣(経済財政政策)
	(越智 隆雄	内閣府副大臣 代理出席)
同	梶山 弘志	内閣府特命担当大臣(規制改革)
同	江崎 鐵磨	内閣府特命担当大臣(海洋政策)
同	野田 聖子	総務大臣
同	河野 太郎	外務大臣
同	麻生 太郎	財務大臣
同	林 芳正	文部科学大臣
同	加藤 勝信	厚生労働大臣
同	齊藤 健	農林水産大臣
同	世耕 弘成	経済産業大臣
同	石井 啓一	国土交通大臣
同	中川 雅治	環境大臣
同	小野寺五典	防衛大臣
同	野上浩太郎	内閣官房副長官
同	杉田 和博	内閣官房副長官
同	和泉 洋人	内閣総理大臣補佐官

4. 議題

- (1) 統合イノベーション戦略の策定に向けて
- (2) 「科学技術・イノベーション政策強化推進チーム」の開催について

5. 配布資料

資料1 統合イノベーション戦略の策定のプロセス
資料2 「科学技術・イノベーション政策強化推進チーム」の開催について
参考資料1 安倍内閣総理大臣指示及び施政方針演説の概要
参考資料2 「イノベーション戦略調整会議」の開催について

6. 議事

【松山科学技術政策担当大臣】

定刻となりましたので、第1回イノベーション戦略調整会議を開会致します。
昨年12月の総合科学技術・イノベーション会議における総理の指示を踏まえ、「統合イノベーション戦略」を本年夏までに策定します。
このため、菅官房長官を議長とし、関係閣僚からなる戦略調整会議を立ち上げ、戦略の整合性、一体性を確保することとしました。
本日の会議はそのキックオフとなる重要な会議です。関係大臣の御協力に感謝を申し上げます。
それでは、議事に入らせて頂きます。
議題1は「統合イノベーション戦略の策定に向けて」についてです。
まず初めに、和泉総理大臣補佐官より説明をお願い致します。

【和泉内閣総理大臣補佐官】

資料1を御覧ください。

1 ページ目、統合イノベーション戦略の策定プロセスです。

松山大臣からの挨拶にもあった通り、統合イノベーション戦略は、今年の夏までに策定致します。

本会議では、総合科学技術・イノベーション会議の構成員の閣僚ほか、関係閣僚で構成され、戦略策定に必要な関係司令塔、関係省庁の調整を実施するものです。

2 ページ目を御覧ください。

統合イノベーション戦略の概要・イメージです。

我が国におけるイノベーションには、技術シーズが創業や社会実装に結び付かない。世界との比較においてスピード、スケール、深さにおいて差がある。近年、研究開発レベルも相対的に低下しているといった課題が存在します。

今後策定する統合イノベーション戦略では、世界最高水準のイノベーション国家の創造を目的とし、グローバル目標の設定、基礎研究から社会実装まで一貫通の戦略を策定致します。

具体的には「Society 5.0の基盤構築」、「大学改革／若手活躍推進」など、9つのテーマを重点として、世界を意識した達成すべきグローバル目標の設定、創業や社会実装など、「イノベーション」を戦略対象として重視し、目標達成に至るまでの論理的道筋の設定などを中心に、戦略を構築してまいります。

3 ページ目を御覧ください。

横断的施策としては、シーズ、人材、ビジネス化、社会変革、国際展開に至る「総合的包括的改革」が一つのテーマです。シーズ、人材を産み出す大学の改革、創業促進によるビジネス化、政府事業のイノベーション化による社会変革、SDGsなどの国際展開を一体的に実施してまいります。

もう1点、データ連携やエビデンスを基礎とした政策立案など、イノベーション創出を支える基盤を構築してまいります。

4 ページ目、最後のページを御覧ください。

個別分野に関しまして、AI、バイオ、環境エネルギーなど、先端重要分野で世界最先端の戦略を策定するのが一つのテーマです。

もう1点は、世界で勝てるシーズを産み出す研究開発体制の構築と社会実装の促進です。

具体的には、これまで実施されたSIPの成果を踏まえ、新技術動向を踏まえた次期SIPの立ち上げ、SIPで確立された手法の政府全体への展開などを続けてまいります。

説明は以上です。

【松山科学技術政策担当大臣】

それでは、本議題について関係大臣から御発言頂きたいと思っております。

時間も限られておりますので、各自30秒程度でお願い致します。

まず、林文部科学大臣、お願い致します。

【林文部科学大臣】

世界最高水準のイノベーション国家の創造に向けて、その源泉となる人材力や基礎科学力の強化、オープンイノベーションを促進する新たなシステムの整備を進めます。

また、国立の研究開発法人や大学を核として、先端重要分野で世界に勝てるシーズを産み出す研究開発を推進してまいります。

さらに、大学が経営力を高め、地域活性化やイノベーションの中核を担うよう、内閣府とも密な連携を図りつつ若手研究者の活躍につながる人事給与マネジメント改革を進めるとともに、ガバナンスの抜本的強化などの大学改革を加速していきます。

以上です。

【松山科学技術政策担当大臣】

次に、世耕経済産業大臣、お願いします。

【世耕経済産業大臣】

世界に先駆けたイノベーション実現のために、政府全体で整合性ある戦略の作成が重要と考えます。

経済産業省としては、Connected Industriesの実現に向けたデータ連携基盤の構築、各大学の産学連携の見える化による外部人材や資金の受け入れ拡大など、産業界をはじめ、社会の要請に合わせた大学の経営戦略の見直し、関連省庁連携による世界で勝てるシーズを産み出すAIの研究開発など、いずれも重要と考えております。

世界最高水準のイノベーション国家創造に向け、経済産業省としても統合イノベーション戦略の策定に貢献したいと思っております。
以上です。

【松山科学技術政策担当大臣】

次に、小野寺防衛大臣、お願いします。

【小野寺防衛大臣】

我が国の高い技術力は防衛力の基盤であり、国民の命と平和な暮らしを守るためには、政府が一体となって、科学技術の優位性を高めていくことが不可欠です。防衛大臣として、イノベーション戦略調整会議に参画し、産学官連携を一層強化するなど、国民の安全・安心の確保に直結する科学技術政策を推進してまいります。

【松山科学技術政策担当大臣】

最後に、越智内閣府副大臣、お願いします。

【越智内閣府副大臣】

これまでも総合科学技術・イノベーション会議とは、未来投資会議のもとの構造改革徹底推進合や経済財政諮問会議などにおいて、共同で検討を行ったほか、新しい経済政策パッケージに検討内容を盛り込むなど、協力を行っております。

今般のイノベーション戦略調整会議の検討については、健康・医療戦略推進本部とも連携しつつ、今年の夏の新たな成長戦略や骨太の方針にも適切に反映するなど、引き続き協力してまいりたいと考えております。

以上です。

【松山科学技術政策担当大臣】

それでは二つ目の議題「科学技術・イノベーション政策強化推進チーム」の開催についてですが、本件は資料2にございますとおり、この戦略調整会議の下に実務的なチームを開催するものです。更に、このチームの中で、主要テーマごとにタスクフォースを設置することで、政策強化を推進してまいります。

本件について、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【松山科学技術政策担当大臣】

それでは、原案どおり決定致します。

最後に、菅官房長官より御挨拶を頂きたいと思っております。

また、ここからプレスを入れさせていただきます。

(プレス 入室)

【松山科学技術政策担当大臣】

それでは、官房長官、お願い致します。

【菅官房長官】

我が国が世界の競争で生き残るためには、世界最高水準の「イノベーション国家」の創造が不可欠であります。

このため、昨年の総理指示にもあったように、グローバルな視座に立ち、基礎研究から社会実装まで一貫通貫の戦略を策定するとともに、抽象論ではなく具体的な政策を速やかに実行することが必要であります。

今回策定する統合イノベーション戦略は、これを実現するものであり、関係司令塔、関係省庁が一丸となって取り組むことが重要であります。

今後、具体的で実効性のある戦略を策定をするために、関係大臣におかれては、所要の検討体制の強化も含め、主体的な貢献及び協力をお願い致します。

【松山科学技術政策担当大臣】

有難うございました。
では、プレスの方はここで退室をお願い致します。

(プレス 退室)

【松山科学技術政策担当大臣】

本日の議事は以上です。
資料及び議事録は、公表させていただきます。
以上で会議を終了致します。
有難うございました。

以上